

令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河南中学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	58.1%					○
数学	52.5%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	59.2%				○	
情報の扱い方に関する事項	59.6%					○
我が国の言語文化に関する事項	75.6%		○			
話すこと・聞くこと	58.8%	○				
書くこと	65.3%					○
読むこと	47.9%					○

【考察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」の領域では、全国平均を上回りました。しかし、短歌の表現技法の理解に関する問題では、全国平均を下回りました。今後は、詩歌で用いられる表現技法やその効果について繰り返し学習させ、知識・技能が定着するよう努めてまいります。
- 「話すこと・聞くこと」の領域では、全国平均を下回りました。中でも、資料を用いて、自分の考えを分かりやすく相手に伝わるように話すこと、話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題があります。今後は、資料を正しく読み取り、他者との交流を通して、自分の考えを論理的に表現する力を育む授業の充実に努めてまいります。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.1%					○
図形	40.3%					○
関数	60.7%					○
データの活用	55.5%					○

【考察】

- すべての領域で全国平均を上回りました。「関数」の領域では、1次関数の式とグラフの特徴に関する問題において、全国平均を大幅に上回りました。しかし、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題においては、記述が十分ではなく、説明不足である解答が目立ちました。今後は、問題解決の方法を言語化し、キーワードを用いて簡潔、明瞭にまとめ、表現力を育む授業の充実に努めてまいります。
- 「数と式」の領域では、数に関する事象を考察する場面で、成り立つと予想される事柄について数学的に説明する問題において、全国平均を大幅に上回りました。しかし、連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかを問う問題では、全国平均をやや下回りました。今後は、文字を用いて式を表現したり、式の意味を読み取ったりする力を養うとともに、文字を用いた式を具体的な場面で活用することで、そのよさを実感できるような指導を工夫してまいります。

**令和6年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河南中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中 3	全 国	28.2	50.4	18.1	3.0
	白河南中	36.1	63.9	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 授業、定期テストに向けての学習、家庭学習などに取り組む中で、分からない内容や疑問に思ったことなどを級友や教師に質問するなどして、理解するまで粘り強く学習に取り組む生徒が増えました。今後も学習におけるR-PDCAサイクルを意識させ、自己の課題を理解し、学び方を自ら調整していけるように「自己マネジメント力」を高めてまいります。
- 主体的に学習に取り組むために、ICTを効果的に活用させてまいります。どの教材を使って、何を勉強するのか、自分で判断して学習できるように支援してまいります。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6
	白河南中	2.8	27.8	55.6	11.1	2.8	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「なりたい自分になるために」自分自身の進路実現に向けて、目標をもって学習に取り組むことで家庭での学習を習慣化することができました。
- 将来の自分をイメージさせ、夢を実現するために今やらなければならないことを明確にして実践できるよう支援してまいります。また、メディアコントロールを意識させ、時間の使い方について、自己管理できるよう支援してまいります。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	27.1	50.8	18.0	3.2
3	白河南中	33.3	58.3	8.3	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 授業だけでなく、休み時間や放課後の時間を活用し、学習内容について教師や級友に質問する生徒が多くいます。自分の課題解決に向けて、分からないことを分からないと言える安全・安心に学べる学習環境であることが成果として表れています。
- 今後も各教科の授業において、解決するまで見通しをもって学習に取り組むことや授業で何が分かり、どのようなことができるようになったのか、自分のことばで振り返り、自分の成長や変容に気付くことができるように支援してまいります。

4 1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。)

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	30.1	47.6	17.6	3.7
3	白河南中	58.3	27.8	13.9	0.0

(単位 %)

【考 察】

- ロイロノートを活用して、自分の考えや意見を整理し、共有したり比較・検討したりする機会を設けています。その結果、「自分の考えや意見を相手に分かりやすく伝えるにはどうしたらよいか」の視点を持ち、考えをまとめたり必要な情報を収集したりすることで課題解決につなげることができています。
- 今後もICT機器を効果的に活用して、自分の考えや意見を相手に伝えるだけでなく、様々な考えや意見を尊重し認め合い、お互いに合意形成できる力が身につくように努めてまいります。